

1 趣旨

「地域包括ケアシステム構築推進のための共同宣言」の趣旨を踏まえ、民間事業者や関係団体を含め、県民が一体となって地域包括ケアシステム構築に取り組むことを目指し、以下の目的を達成するための県民運動を展開する。

- (1) 「地域包括ケアシステム」の普及啓発
- (2) 地域住民等の支えあい活動への参加と企業の社会貢献活動への参加意識の醸成
- (3) 地域包括ケアを担う人材の確保とすそ野の拡大

2 令和4年度の具体的な取り組み

- 県民・事業者一体となった地域包括ケアシステム構築の気運づくり
 - (1) 「富山県地域包括ケア活動実践団体」の募集、登録
 - (2) 「富山県地域包括ケア実践顕彰」
 - (3) 「とやま地域包括ケアシステム」のホームページの運用
 - (4) 認知症にやさしい地域づくり推進キャンペーン
- 地域包括ケアシステム構築に向けた市町村への支援
 - (1) 地域包括ケアシステム構築に向けた市町村の取り組みへの伴走支援
 - (2) 市町村職員向けセミナーの開催
 - (3) 地域支援事業担当者意見交換会の開催(好事例となる取り組み報告、情報交換等)
 - ・地域ケア会議
 - ・在宅医療介護連携事業
 - ・認知症施策 等

「富山県地域包括ケア活動実践団体」の募集、登録及びホームページの運用

1 趣旨

地域での支えあい活動など、地域包括ケアに関する活動に積極的に取り組む住民団体や、地域貢献活動の一環として地域と連携した支えあい活動への参加を積極的に取り組む企業等、地域包括ケアに関わる取組みを実践する団体・事業者を「地域包括ケア実践団体」として登録し、取組み内容を県民に広く周知する。具体的には、

- (1)「地域包括ケアシステム」の普及啓発
- (2)地域住民等の支えあい活動への参加と企業の社会貢献活動への参加意識の醸成

2 登録団体集中募集期間

<第1期> 令和4年5月2日(月)～6月9日(木)

<第2期> 令和4年11月21日(月)～12月23日(金)



登録団体数(R4.6月末)
⇒ **2,358団体**



<http://www.toyama-chiikihoukatsu.net>

とやま地域包括ケアシステム

検索

「富山県地域包括ケア活動実践団体」の要件等

対象団体及び登録の要件となる活動内容

富山県内に活動拠点がある任意団体（住民組織、老人クラブ、地区社会福祉協議会等）、NPO、民間企業、協同組合、医療機関、介護サービス事業所等

団体種別	活動内容
任意団体、NPO等	<p>無料又は低額で行う次の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、生きがいづくりとなる居場所の運営 ・見守り、声掛け、話し相手 ・食事作り、掃除、ゴミ出し、洗濯等の家事援助 ・軽作業の代行（草むしり、電球交換等） ・買い物代行 等 ・配食サービス ・外出の手助け（通院時の送迎など）
民間企業、協同組合等	<p>(1) 社会貢献活動としての次の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、生きがいづくりとなる居場所の運営 ・市町村と連携した見守り、徘徊・見守りSOSネットワークへの協力 ・認知症サポーター養成など認知症高齢者への支援 等 <p>(2) 生活支援・介護予防の向上につながる次のサービス等（営利活動を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配サービス、移動販売 ・ICTを活用した見守り、生活支援サービス 等
医療機関、介護サービス事業所等	<p>社会貢献活動の一環として、無料又は低額で行う次の活動（診療報酬・介護報酬の対象となるものを除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり教室や認知症に関する相談会の開催 ・在宅医療・介護に関する市民等への普及啓発活動 ・在宅医療と介護の連携に関する研修会の開催 等

「富山県地域包括ケア実践顕彰」

1 趣旨

高齢者の日常生活を支援するボランティア団体や、社会貢献活動の一環として高齢者への支援を行う事業者など、地域包括ケアに関する活動を積極的に実践する団体や事業者を顕彰するとともに、県民の模範として広く紹介することにより、地域包括ケアシステムの構築に資する。

2 募集期間

●令和4年6月28日(火)～8月1日(月)

4 顕彰時期

●令和4年12月予定
がんばる介護事業所表彰と同日開催予定

3 顕彰検討委員会

●令和4年11月 開催予定
(富山県地域包括ケアシステム推進会議の顕彰検討委員会により審査を行う。)

<参考> 顕彰の方法

- (1) 顕彰は、富山県地域包括ケアシステム推進会議会長の名において行う。
- (2) 地域包括ケアその他高齢福祉に関する行事に併せて行う。
- (3) 表彰状及び記念品を贈呈する。

「認知症にやさしい地域づくり推進キャンペーン」(R4新規事業)

1 趣旨

県では、認知症となっても希望を持って日常生活を過ごせる富山県を目指し、認知症の理解を深めるための普及・啓発を強化し、認知症の人にやさしい地域づくりに向けた取組みを推進している。この取組みの一環として、認知症の人への対応方法や県内市町村及び企業等の取組みを普及啓発するキャンペーンを開催。

2 キャンペーン開催日時等

世界アルツハイマーデーに開催

- 令和4年9月21日(水)
会場: イオンモール高岡
- 令和4年9月24日(土)
会場: フューチャーシティファボーレ富山
- 内容
県内市町村・企業ブースの出展 相談コーナーの開設
認知症講演会(小杉爆笑劇団、認知症看護認定看護師) VR体験 等



3 ラジオ放送による啓発

『とれたてワイド朝生』

- 9月19日(月・祝) 県高齢福祉課地域包括ケア推進班職員
- 9月20日(火) 認知症看護認定看護師
- 9月21日(水) 認知症サポーター
- 9月22日(木) アルビス株式会社
- 9月23日(金) 若年性認知症相談・支援センター職員

『5時間耐久ラジオ』 約10分

- 9月24日(土) 小杉爆笑劇団ほか

4 オレンジライトアップ



県庁前公園噴水



富岩運河環水公園

認知症のテーマカラーは なぜオレンジ色なの？

「柿色」をしたオレンジリングや、認知症サポーターカードは、認知症サポーターの目印です。温かさを感じさせるオレンジ色は「手助けします」という意味を持ちます。

江戸時代の陶工・酒井柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵磁器は、ヨーロッパにも輸出され世界的な名声を誇ります。同じように日本初の「オレンジリング」が世界のいたるところで認められればとの思いからつくられました。

認知症サポーター キャラバンマスコット 「ロバ隊長」とは？

「ロバ隊長」は、認知症サポーターキャラバンのマスコットです。

認知症サポーターの「キャラバン」の隊長として、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりへの道のりの先頭を歩いています。

ロバのように急がず、しかし一歩一歩着実に、認知症にやさしい社会が進んでいくことを願っています。

全国キャラバン・メイト連絡協会



地域包括ケアシステム総合的伴走支援展開事業(R4 新規事業)

1 趣旨

県内市町村における地域包括ケアシステム構築を推進するため、市町村が行う「介護予防・日常生活支援総合事業」の取組みが円滑に推進されるよう、有識者から直接、伴走支援を受ける機会を設定する。

また、地域包括支援センターの機能強化に向け、生活支援体制整備事業や地域ケア会議など、地域支援事業の各事業を連動しながら高齢者支援に取り組むことができるよう、必要な知識、技術等を習得する研修会を開催する。

2 実施主体

富山県（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会委託）

3 事業内容

(1) 市町村の取組みへの伴走支援（対象：魚津市・舟橋村 各3回支援予定）

舟橋村 第1回 令和4年9月28日(水) テーマ：外出(通院・買物)支援

魚津市 第1回 令和4年9月29日(木) テーマ：魚津市通所型サービスB

(2) 富山県地域包括ケアシステム支援研修会(年3回)

第1回 令和4年9月27日 会場：富山県農協会館

第2回 令和4年11月頃

第3回 令和5年2月頃

市町村職員向けセミナー等の開催

1 市町村職員向けセミナー等

(1) 認知症関連

◆養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修

令和4年8月22日(月), 8月30日(火), 9月5日(月)

(2) 生活支援関連

◆生活支援コーディネーター養成研修(令和4年6月30日)

2 地域支援事業担当者意見交換会の開催

(1) 地域ケア会議担当者意見交換会(令和4年8月4日(木))

○事例報告: 砺波市: 砺波市の地域ケア会議について

○意見交換: テーマ「自立支援型地域ケア個別会議」



地域ケア会議意見交換会

(2) 在宅医療介護連携推進事業担当者意見交換会(令和4年8月24日(水))

○事例報告: 射水市: 射水市多職種連携支援システム(ICTツール)の運用

高岡市: 高岡市における在宅医療・介護連携推進事業

新川厚生センターにおける在宅医療・介護連携推進の取組み

○講演: かみいち総合病院の在宅医療

○意見交換: テーマ「在宅医療・介護連携の課題」

(3) 認知症施策担当者意見交換会(令和4年11月開催予定)